旋回方式に革命!

従来の圧砕機配管で

フリー&油圧旋回(一方向)ができる

次世代のARTSシリーズ誕生 (0.45m³・0.7m³クラスに採用)注1)

360°全旋回汎用コンクリート解体機

# サイレント





ORC-30FR/HR

ORC-50ARTS/AHR/(AFR)

ORC-80ARTS/AHR/(AFR)

ORC-100FR/HR

ORC-120FR/HR

オカダアイヨン紫



## 360°全旋回汎用コンクリート解体機

## サイレントガブジョ

解体から小割破砕、鉄筋処理まで1台でこなすサイレントガブジョが新旋回方式を



### ●360°全旋回

360°全旋回機構で、あらゆる角度で自在に連続作業ができ、狭い現場での作業も効率よく行うことができます。旋回方式は、ARTS旋回・油圧旋回(HR)・フリー旋回(FR)から選べます。(ショベルクラスにより適用される旋回方式が異なりますので、右ページを参考にしてください。ARTS旋回については取付ショベル0.45m³・0.7m³クラスに採用しています。)

注1)旧JISバケット容量での取付ショベルクラスを表示しています。

### ●鉄筋カッター刃

中央部のカッター刃は解体作業と同時に鉄筋を逃さず切断することができ、連続した作業が行えます。

## ●狭い現場で威力を発揮

片開き方式のため、ビルの壁などと接近した場所や狭い現場でもアームが張り出さず、固定アームが入る隙間があれば、スピーディな作業が行えます。またARTS旋回では今までの圧砕機配管だけで一方向の油圧旋回と当て回しができるので、上向き作業等の位置決めを油圧旋回で行うことが可能になりました。



## ニュー旋回方式「ARTS」とは

旋回用の配管や電気配線などをもうけなくても今までの圧砕機配管(往復配管)だけで一方向の油圧旋回と両方向のフリー旋回(当て回し)が可能になった、画期的な旋回方式です。

**一方向の油圧旋回 + 両方向のフリー旋回 = ARTS** (HR)

ARTS

→ 圧砕機配管のみ必要



## ●ARTSは簡単・便利な操作

ARTSの油圧旋回は、開いてペダルを踏み続ければ自動回転。好きな位置でペダルを放せば制止するので、高所での作業も安全性が高く、効率的に行えます。

## ●旋回方式の紹介

アーツ

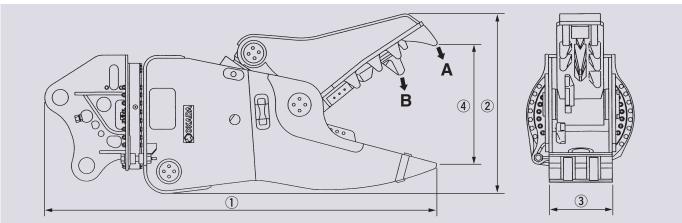
型式	旋回方式	アタッチメント配管
ARTS	一方向の油圧旋回+当て回し	圧砕機配管
HR · AHR	両方向への油圧旋回	圧砕機配管+旋回配管
FR·AFR	当て回し	圧砕機配管

型式	ORC-30	ORC-50	ORC-80	ORC-100	ORC-120
ARTS		0	0		
HR	0	○(AHR)	○(AHR)	0	0
FR	0	○(AFR)*	○(AFR)*	0	0

## サイレントガブジョ 仕様書

		ORC-30FR/HR	ORC-50ARTS/AHR/(AFR)	ORC-80ARTS/AHR/(AFR)	ORC-100FR/HR	ORC-120FR/HR
質量	kg	705/765	1370/1360/ (1360)	2200/2190/ (2190)	3200/3235	3900/3950
① 全 長	mm	1790/1910	2320	2680	2840	3135
②全高	mm	940	1055	1215	1390	1380
③フレーム 幅	mm	230	380	435	530	600
④ 最大開口幅	mm	575	700	800	920	1050
鉄筋カッター刃長	mm	120	150	180	215	215
破砕力A	kN	280	450	550	750	750
破砕力B	kN	400	600	800	1050	1050
使用圧力	MPa	25	28	28	28	28
増速バルブ			標	準 装	備	
取付ショベルクラス	ton	6~9	11~16	18~25	30~34	40~48
(旧バケット容量表示クラス	m³)	(0.25~0.35)	(0.45~0.55)	(0.7~0.9)	(1.2)	(1.6)

※ORC-50AFR・80AFR(フリー旋回)はオプションです。



- 取り付けるショベルの機種によっては、表示しているクラスのショベルでも取り付かない場合がありますので、 取り付けるショベルの機種・型式・仕様をご確認の上、ご相談下さい。
- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読み下さい。
- ●機体質量3ton以上の建設機械の運転には、「車輌系建設機械運転技能講習修了証(整地・運搬・積込及び掘削用)」が必要です。
- この仕様は、改良ために変更することがあります。

## オカダ アイヨン株式 ホームページアドレス http://www.aiyon.co.jp/